

土をなめる農民

村の東の空に、若松のお城がくつきりと見えます。西の方には、あばれ川の大川がゆうゆうと流れています。村には、青々とした野菜畑やさいばたけが広がっています。昔かまくら（鎌倉時代の初め）武将ぶしやうが、幕をはりめぐらして館やぐらとしたので、幕内まくのうちといわれるこの村は、砂土すなつちで、畑はたけが多い村です。



ある日、この野菜畑を歩きまわりながら、野の良着姿らぎの一人の男が、帳面を広げて何やら書きしるしていました。

「何をしておいでです。」

しばらく、ふしぎそうにながめていた通りがか